

I 沖縄県の特定健診の状況
(検査項目・標準的な質問票)
沖縄県・全国 令和2年度(2020年度)

目次

I 沖縄県の特定健診（検査項目・標準的な質問票）の状況 （沖縄県・全国，令和2年度）

1	解説	1
2	特定健診受診者	3
3	検査項目別、性年齢階級別の平均値・該当者割合	4
(1)	BMI	5
(2)	腹囲	10
(3)	収縮期血圧	14
(4)	拡張期血圧	20
(5)	空腹時血糖	26
(6)	HbA1c	32
(7)	中性脂肪	39
(8)	HDLコレステロール	45
(9)	LDLコレステロール	51
(10)	GOT (AST)	57
(11)	GPT (ALT)	63
(12)	γ-GTP	69
(13)	尿蛋白	75
(14)	尿糖	78
(15)	eGFR（詳細な検診の項目含む）	81
(16)	血清クレアチニン（詳細な検診の項目含む）	85
(17)	心電図（詳細な検診の項目含む）	86
(18)	ヘモグロビン（詳細な検診の項目含む）	88
(19)	随時血糖	91
(20)	CGA分類	94
4	標準的な質問票	96
(1)	各質問項目の回答状況	97
(2)	質問項目別 性年齢階級別の状況	99
	質問項目1：「血圧を下げる薬」を使用している者の割合	99
	質問項目2：「血糖を下げる薬又はインスリン注射」を使用している者の割合	100
	質問項目3：「コレステロールや中性脂肪を下げる薬」を使用している者の割合	101
	質問項目4：医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、 治療を受けたことがある者の割合	102

質問項目 5 : 医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある者の割合	103
質問項目 6 : 医師から、慢性腎臓病や腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析など）を受けたことがある者の割合	104
質問項目 7 : 医師から、貧血といわれたことがある者の割合	105
質問項目 8 : 現在、たばこを習慣的に吸っている者の割合	106
質問項目 9 : 20 歳の時の体重から 10kg 以上増加している者の割合	107
質問項目 10 : 1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施していない者の割合	108
質問項目 11 : 日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1 日 1 時間以上実施していない者の割合	109
質問項目 12 : ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が遅い者の割合	110
質問項目 13 : 食事をかんで食べる時にかみにくいことがある又はかめない者の割合	111
質問項目 14 : 人と比較して食べる速度が速い者の割合	113
質問項目 15 : 就寝前の 2 時間以内に夕食をとることが週に 3 回以上ある者の割合	115
質問項目 16 : 朝昼夕の 3 食以外に間食や甘い飲み物を摂取している者の割合	116
質問項目 17 : 朝食を抜くことが週に 3 回以上ある者の割合	118
質問項目 18 : お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度	119
質問項目 19 : 飲酒日の 1 日当たりの飲酒量	122
質問項目 20 : 睡眠で休養が十分とれていない者の割合	125
質問項目 21 : 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思う割合	126
質問項目 22 : 生活習慣の改善について保健指導を利用しない者の割合	130
5 該当者割合と標準化該当比	131
(1) 検査項目	131
ア 40～74 歳	131
イ 40～64 歳	133
ウ 65～74 歳	135
(2) 質問項目	137
ア 40～74 歳	137
イ 40～64 歳	139
ウ 65～74 歳	140
6 資料（年齢階級別 経年推移）	143
7 参考	182
(1) 特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の推移	182
(2) 年齢階級別の状況	183
(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合の年次推移	184

1 解説

沖縄県の健康課題を把握し、健康づくり事業や生活習慣予防対策の基礎資料とするため、厚生労働省が公表する「NDBオープンデータ」を用いて、令和2年度の特定健診検査項目および標準的な質問票の質問項目について、保健指導判定区分等の該当者割合、年齢調整値、標準化該当比を算出し、表やグラフに示した。

また、検査値については第1回～第8回、標準的な質問票については第2回～第8回NDBオープンデータを用いて、各年度の年齢調整値を算出し経年推移を示した。

第7回より、詳細情報レコードを用いたヘモグロビン、血清クレアチニン、eGFR、心電図、平均値についてデータが公表され、その詳細情報レコードを含む集計を行った。また eGFR(腎機能)と蛋白尿によるCGA分類(「eGFRと尿蛋白」のクロス集計)が新たに公表され、件数・割合等を掲載した。

(1) 資料

NDB オープンデータ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html>

- ・第8回 令和2年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票、二次医療圏別(令和5年8月)
- ・第7回 令和元年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票、二次医療圏別(令和4年8月)
- ・第6回 平成30年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票、二次医療圏別(令和3年8月)
- ・第5回 平成29年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票(令和2年12月)
- ・第4回 平成28年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票(令和元年8月)
- ・第3回 平成27年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票(平成30年8月)
- ・第2回 平成26年度実施分 各項目別 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布、質問票
- ・第1回 平成25年度実施分 各項目 性・年齢階級別分布、各項目の平均値 性・年齢階級別分布

(2) 算出方法

ア 該当割合

$$\text{該当割合} = \frac{\text{各項目別の性・年齢階級別該当者数}}{\text{性・年齢階級別受診者}} \times 100$$

イ 年齢調整値(直接法)

県と全国の地域間の差や経年推移を観察するため、年齢調整値を算出した。

$$\text{年齢調整値} = \frac{\sum(\text{観察集団の性・年齢階級別平均値または該当者割合} \times \text{基準人口*の年齢階級別人口})}{\text{基準人口*の総数}}$$

*基準人口は「平成22年国勢調査 全国人口(男女計,総人口)」を使用

ウ 標準化該当比

健診受診者の年齢構成を補正するため、標準化死亡比(SMR)の計算方法に準じて、男女別に「標準該当比」を算定し、基準集団(全国)での該当者出現率を 100 とした時の、沖縄県の該当者出現率を相対値で表した。

$$\text{標準化該当比} = \frac{\text{沖縄県の性別該当者数の総和}}{\sum(\text{沖縄県の性年齢階級別受診者数} \times \text{全国の性年齢階級別該当者割合})} \times 100$$

年齢階級は、40-44、45-49、50-54、55-59、60-64、65-69、70-74 歳の7階級とし、40-74 歳、40-64 歳、65-74 歳のそれぞれについて標準化該当比を計算した。

○標準化該当比の読み方

標準化該当比は、全国を基準(100)としており、県の標準化該当比が 100 より大きい場合は、県の該当者出現割合は全国より高く、100 より小さい場合は、県の該当者出現割合は全国より低いことを示す。

県の標準化該当比が 120 であったとすると、沖縄県は全国とくらべて 1.2 倍、該当者割合が高いことを意味する。ただし、値は偶然的な誤差を含んでいるため、国立保健医療科学院「標準化該当比計算シート」(<https://www.niph.go.soshiki/07shougai/datakatsuyou/>)を参考にし、95%信頼区間を算出し、併記した。

(3) データを活用する際の注意

NDB オープンデータは、「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」の最小集計単位の原則に従い、集計単位が 10 未満の場合は、「-(ハイフン)」(10 未満の箇所が 1 つのみ場合は、10 以上の最小値も「-」)表示している。そのため、表などで、集計値が一致しないことがある。

また、各項目の年齢階級別の検査値階層区分合計を受診者数とし、割合を計算した。年齢階級別の検査値階層区分が「-」で表示されている場合があるが、「-」を除いた数値の合計を受診者数として割合を計算し表やグラフを作成し、各項目の状況を把握するため参考に掲載している。

【参考資料】

- 健康日本 21(第二次)地域計画推進のために「地方自治体による効果的な健康施策展開のための既存データ(特定健診データ等)活用手引き」, 2013 年 3 月, 研究代表者 津下一代

http://www.ahv.pref.aichi.jp/www/files/tsushita/katsuyo_tebiki/tebiki_0.pdf

- 自治体における生活習慣病対策推進のための「健診・医療・介護等データ活用マニュアル」, 平成 28 年 3 月, 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「健診・医療・介護等データベースの活用による地区診断と保健事業の立案を含む生活習慣病対策事業を担う地域保健人材の育成に関する研究」(H25-循環器等(生習)-一般-014) 研究代表者 横山 徹爾

<https://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/data/data-manual.pdf>

- 厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム【平成 30 年度版】

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000194155.html>